

■ 省エネルギー部門大賞 ■

受賞者名	株式会社テスク資材販売 住 所：札幌市中央区北7条西20丁目2番1号 TEL：011-611-6600 URL：http://www.tsc-jp.com/shizai/	代表取締役 丹 英司
設立年月	平成16年10月	

■ 取組内容

温泉水などの未利用再生可能エネルギーを利用できる樹脂製柵状熱交換器と給湯用予熱システムの開発

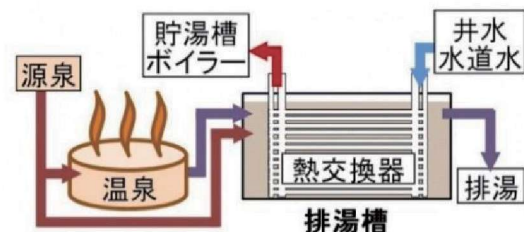
温泉水をはじめ、河川水、下水など未利用熱エネルギーを利用できる樹脂製の柵状熱交換器とこれを利用した給湯用の水を予熱するシステムを開発

■ 選考理由

- ・従来の金属製熱交換器では困難であった、酸による腐食やスケール（湯の花などの固形物質）による目詰まりを伴う熱源水の利用を可能とする樹脂製熱交換器を開発
- ・温浴施設における普及拡大や農業・水産業分野への展開が期待されるものと評価



樹脂製柵状熱交換器



給湯用熱回収システムの概要図



温泉排湯槽での設置状況

■ 省エネルギー部門奨励賞 ■

<p>受賞者名</p>	<p style="text-align: center;">学校法人望洋大谷学園 北海道大谷室蘭高等学校</p> <p>住所：室蘭市八丁平3-1-1 TEL：0143-44-5641 URL：http://www.hokkaido-otani.ed.jp/</p>	<p style="text-align: center;">校長 竹本 将人</p>
<p>設立年月</p>	<p>昭和33年4月</p>	

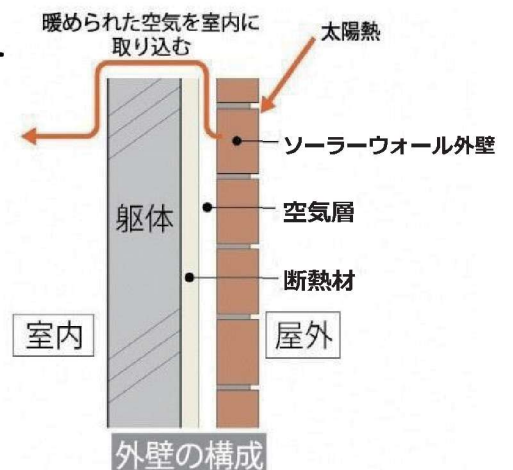
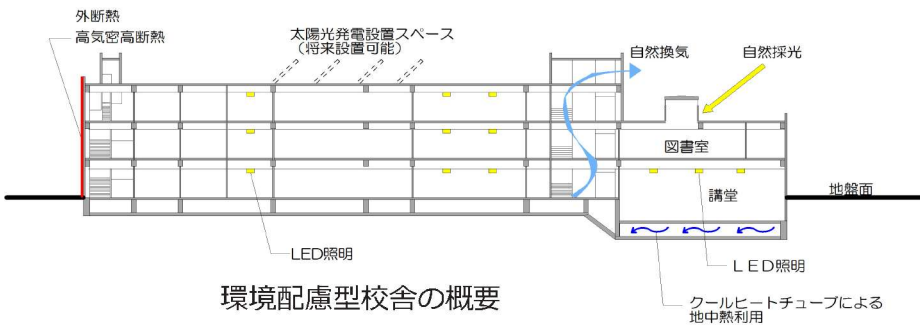
■ 取組内容

環境配慮型校舎の建設による省エネルギーの実現

新校舎の建設にあたり、外断熱工法に加え、地中熱及び太陽熱等の自然エネルギー利用、LED照明等の高効率設備などの採用により、道内トップクラスの省エネルギー型校舎を実現

■ 選考理由

- ・ 低コストの既存技術を組み合わせることにより、校舎全体のエネルギー消費の効率化を実現。あわせて、道内大学と連携し、省エネ効果を検証
- ・ 道内の学校における省エネを促進する啓発効果が期待されるものと評価



校舎全景

■ 新エネルギー部門大賞 ■

受賞者名	せいわ 正和住設株式会社 住 所：石狩市花川南6条4丁目244番地 TEL：0133-74-7003 URL：http://www.seiwa-eco.com/	代表取締役 高橋 正樹
設立年月	昭和54年4月	

■ 取組内容

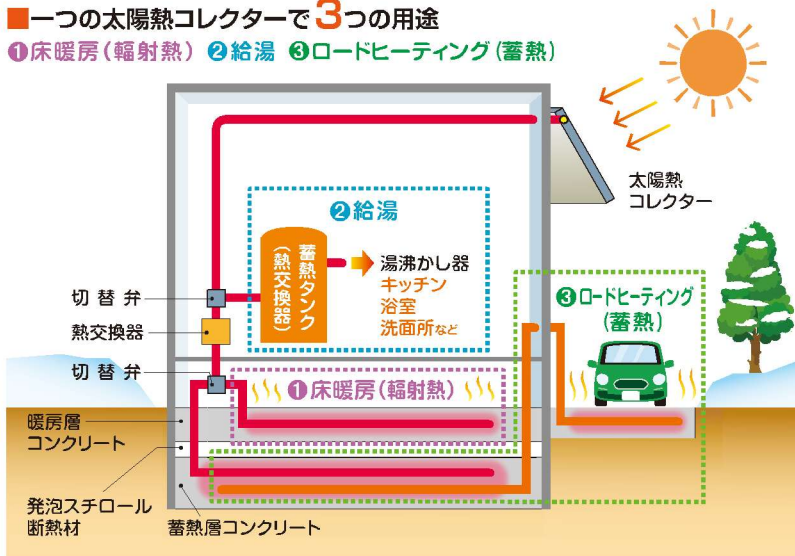
暖房・給湯・蓄熱に利用可能な太陽熱利用システムの開発

太陽熱コレクターから作った温水を暖房用、給湯用、冬場のロードヒーティング向け蓄熱用と季節や需要に応じて使い分けることにより、年間を通じて太陽熱を有効活用できる住宅用太陽熱利用システムを開発

■ 選考理由

- ・従来は用途ごとに太陽熱コレクターが必要であったが、一つの太陽熱コレクターから季節や需要に応じて3つの用途に使い分けるシステムを開発し、効率的なシステムを構築
- ・寒冷地である北海道の住宅分野への波及効果が高いものと評価

■一つの太陽熱コレクターで**3**つの用途
 ①床暖房(輻射熱) ②給湯 ③ロードヒーティング(蓄熱)



システム概要



太陽熱コレクター建物外観



蓄熱利用のロードヒーティング

■ 新エネルギー部門奨励賞 ■

<p>受賞者名</p>	<p>株式会社オリエンタルランド 住 所：千葉県浦安市舞浜1-1 TEL：047-305-5111（広報部） URL：http://www.olc.co.jp/ 農 園：弟子屈町サワンチサップ3-5</p>	<p>代表取締役社長（兼）COO 上西 京一郎</p>
<p>設立年月</p>	<p>昭和35年7月</p>	

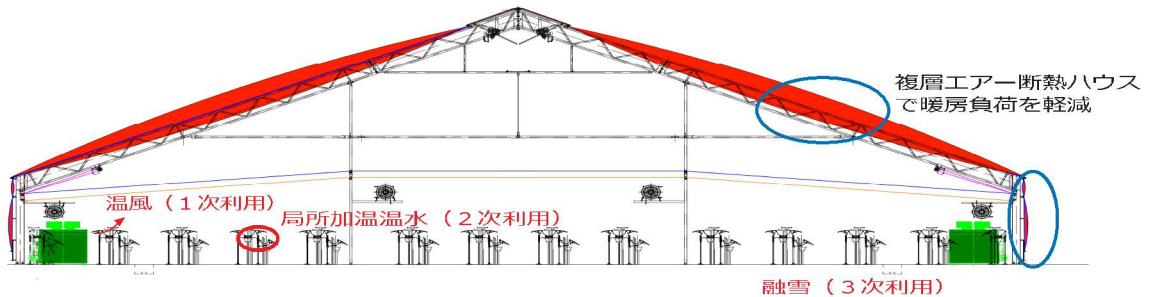
■ 取組内容

温泉水を用いたイチゴの通年栽培に向けた取組

豊富に賦存する温泉水の三次利用（ハウス内の加温、イチゴの株元部の局所加温、暗渠管排水による融雪）と複層ビニールハウスの使用により、冬季のイチゴ栽培を可能とし、本州の産地では実現できない夏秋イチゴの通年生産を実現

■ 選考理由

- ・ 温泉水の三次利用やハウス内への保温カーテンの設置などの工夫により、大幅なコスト削減と環境負荷低減の両立を実現
- ・ 積雪寒冷な道内において高付加価値農業が可能となり、企業による農業ビジネス参入への波及効果が見込まれるものと評価



温泉水でハウス加温(1次)



ハウス加温で使用した温泉水でイチゴの株元を加温(2次)



冬期間には温室側面の融雪熱源として利用(3次)